

低血糖を繰り返す1型糖尿病透析患者との関わり

医療法人財団 はまゆう会王子病院 1)

医療法人財団はまゆう会相生リハビリテーションクリニック 2)

池永あや子 1) 大谷麻岐 1) 外園真矢 1) 渡辺千代子 2) 瀬川賀世子 1) 箴島明彦 1)

田中孝夫 1) 市丸喜一郎 1)

【症例】 40代 男性 1型糖尿病

体調不良の為職を転々とする。結婚、子供に恵まれる。

腎不全の為透析導入とともに離婚。その後当院にて維持透析開始。

3年程前から腹痛、下痢が頻回となり低血糖を起こすようになった。

【経過】

低血糖改善の為、関わっていく内、透析日の低血糖の対処ができていないと感じさせる場面が多々見られた。カーボカウントを取り入れ患者と密に話し合いを重ねたが、スタッフとの関わりを拒絶するような姿勢も見られた。その為、看護の関わりとして、患者と寄り添えるようキーパーソンとなるスタッフを中心とし、医師、栄養士と看護師が連携していった事で、自己管理につながった。